

Rec Print System

RPS-102

渦電流探傷用記録計の操作手順



ACTUNI アクチュニ株式会社

- 本社 大阪市住之江区南港東 8-2-25
TEL 06 (6612) 8502 (代表)
FAX 06 (6612) 8504
- 東京 東京都千代田区岩本町 3-9-17 スリーセブンビル 7階
TEL 03 (5835) 3741
FAX 03 (5835) 3742
- 中部 愛知県刈谷市東刈谷町 2-10-15
TEL 0566 (63) 6565
FAX 0566 (63) 6566

1. 探傷器の構成

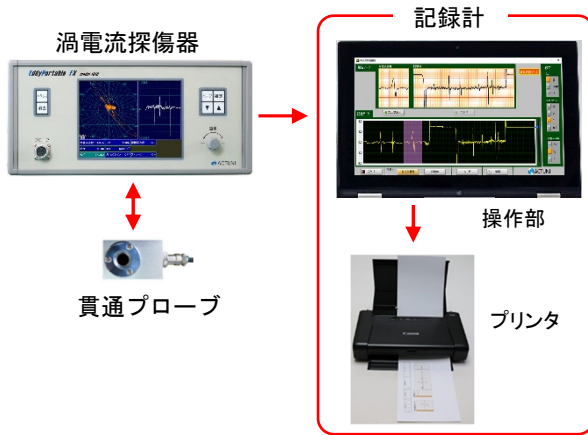
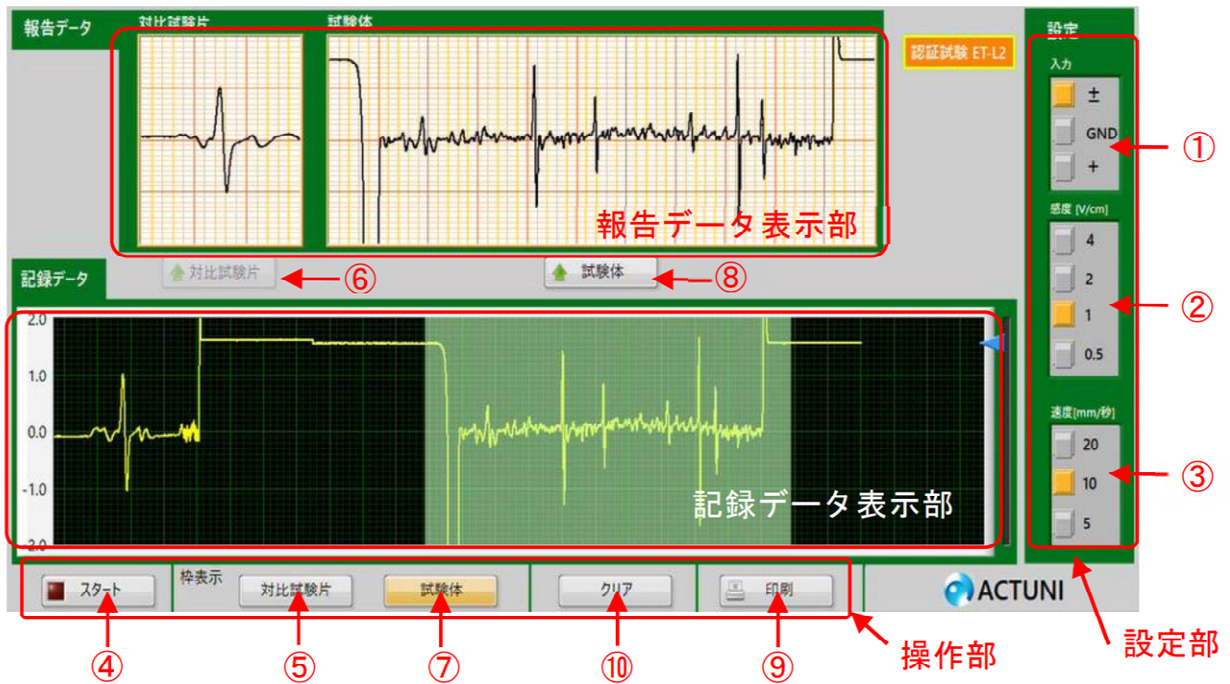


図1 記録計の構成図

図1は記録計の構成を示したものである。貫通プローブと探傷器本体は従来の機器と変わらない。

記録計はデータ表示を兼ねたタッチパネル方式による操作部とプリンタにより構成されている。探傷器からの記録計出力信号を入力してパネル面で記録データの表示と報告データの選択ができ、全ての操作はタッチパネルで行う。

2. 操作パネルの説明



- | | |
|-------------|---------------|
| ① 入力信号極性 | ⑥ 対比試験片 データ転送 |
| ② 記録感度設定 | ⑦ 試験体 枠表示 |
| ③ 記録速度設定 | ⑧ 試験体 データ転送 |
| ④ 記録開始/停止 | ⑨ 印刷 |
| ⑤ 対比試験片 枠表示 | ⑩ データ消去 |

図2 画面説明

図2は操作パネルの画面を示したものであり、大別して次の4ブロックにより構成されている。

- | | |
|---------|---------------|
| i) 設定部 | iii) 記録データ表示部 |
| ii) 操作部 | iv) 報告データ表示部 |

3. 記録計の操作手順

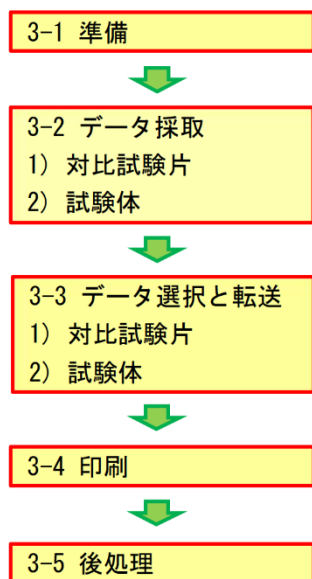


図 3 は、記録計の標準的な操作手順を示したものである。

図 3 記録計の操作手順

3-1. 準備



図 4 記録開始の準備

記録計を使用する前の準備として、図 4 に示すように下記の設定項目が指定されている状態に設定されているか確認し、報告書の試験条件欄に記入する。

- ① 入力信号極性 : ±
- ② 記録感度設定 : 1 V/cm
- ③ 記録速度 : 10 mm/秒

3-2. データ採取

1) 対比試験片

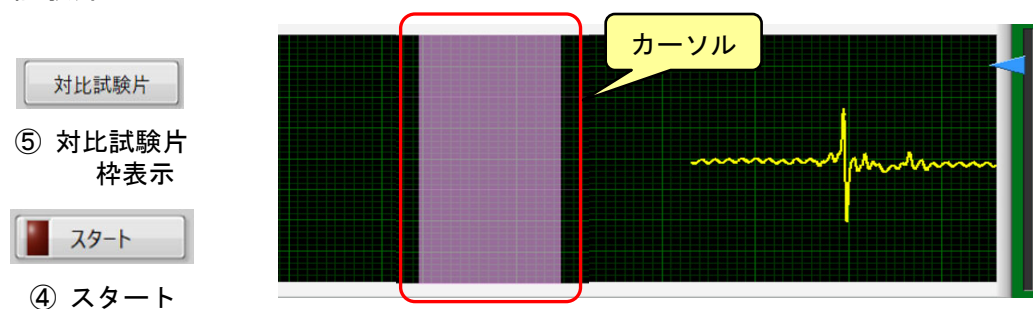


図 5 対比試験片のデータ採取例

図 5 は、対比試験片のデータ採取例を示したものである。

- i) 「⑤ 対比試験片 枠表示」を押すと記録データ表示部に報告データの枠を示すカーソルが表示され、再度押すと消去される。
カーソルを表示後、記録データ表示内を指先でタップすることにより、カーソルを移動することができる。

- ii) 「④ スタート」を押すと記録が開始され、再度押すと停止する。
 なお、最大記録容量は5分であり、5分を経過したデータは消去される。

2) 試験体

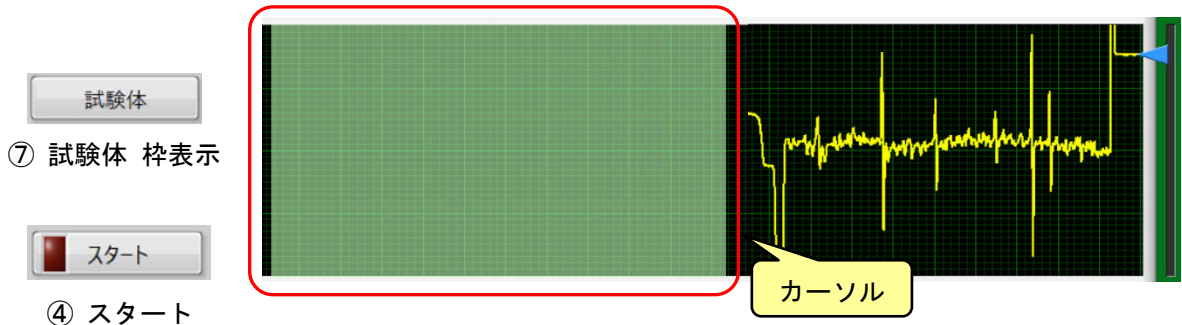


図6 試験体のデータ採取例

図6は、試験体のデータ採取例を示したものである。

- i) 「⑦ 試験体 枠表示」を押すと記録データ表示部に報告データの枠を示すカーソルが表示され、再度押すと消去される。
 カーソルを表示後、記録データ表示内を指先で**タップ**することにより、カーソルを移動することができる。
- ii) 「④ スタート」を押すと記録が開始され、再度押すと停止する。
 なお、最大記録容量は5分であり、5分を経過したデータは消去される。

3-3. データ選択と転送

1) 対比試験片

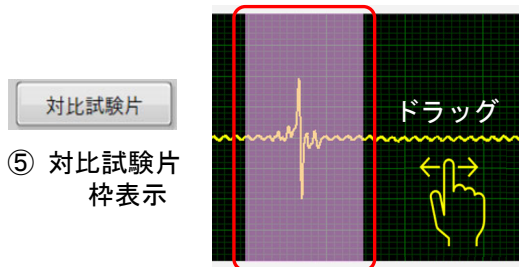


図7 対比試験片のデータ選択例

- i) 図7は、対比試験片のデータ選択例を示したものである。
 対比試験片の基準きずのデータを取得後、記録を停止した状態で記録データ画面上を指先でタッチしたまま左右に動かし、最適な記録データ波形を選択し枠内に**ドラッグ**する。



図8 対比試験片のデータ転送例

- ii) 図8は、対比試験片のデータ転送例を示したものである。
 対比試験片の最適な記録データ波形を選択後、「⑥ 対比試験片 転送」を押すと、選択した波形が報告データ画面に転送される。
 転送した波形を修正する場合は、再度、波形の選択からやり直す。

2) 試験体



図 9 試験体のデータ採取例

- i) 図 9 は、対比試験片のデータ選択例を示したものである。
 試験体のデータを取得後、記録を停止した状態で記録データ画面上を指先でタッチしたまま左右に動かし、最適な記録データ波形を選択し枠内に **ドラッグ** する。



図 10 試験体のデータ転送例

- ii) 図 10 は、試験体のデータ転送例を示したものである。
 試験体の最適な記録データ波形を選択後、「**⑧ 試験体 転送**」を押すと、選択した波形が報告データ画面に転送される。
 転送した波形を修正する場合は、再度、波形の選択からやり直す。

3-4. 印刷

タイムスタンプ

実施年月日	No.	氏 名
2022/01/31 13:00		

[4] 探傷記録チャート、きずの分類及び数

対比試験片	試験体

最大振幅を示すきずの 基準端からの距離	きずの総数	欠陥の数
mm	個	個

[5] 合否判定

判定結果

[6] 後処理

結 果

⑨ 印刷

ACTUNI

図 11 印刷例

- 図 11 は、データの印刷例を示したものである。
 i) 「**⑨ 印刷**」を押すと、約 10 秒後に印刷が開始され自動的にタイムスタンプが記録される。
 ii) 印刷されたデータを基にきずの総数など報告事項を記入し、試験報告書にホチキスで留める。

3-5. 後処理



図 12 データの消去

印刷終了後、「⑩ クリア」を押すと、画面上に図 12 に示す「表示波形をクリアしますか」が表示されるので、「OK」を選択して押すと全てのデータは消去される。



ACTUNI

(アクチュニー)

ACTUNI 株式会社

ホームページ

<http://www.actuni.co.jp>

- | | | |
|--------|-----------|---|
| □本社 | 〒559-0031 | 大阪市住之江区南港東 8-2-25
TEL 06(6612)8502 FAX 06(6612)8506 |
| □東京営業所 | 〒101-0032 | 東京都千代田区岩本町 3-9-17
スリーセブンビル 7階
TEL 03(5835)3741 FAX 03(5835)3742 |
| □中部営業所 | 〒448-0807 | 愛知県刈谷市東刈谷 2-10-15
TEL 0566(63)6565 FAX 0566(63)6566 |

発行年月	2022年2月1日
管理番号	G-4001079
版番号	Ver. 2.00